



令和2年7月6日(月) 岐阜県記者発表資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
セラミックス研究所	研究開発部	立石賢司	直通 0572-22-5381
	技術支援部	加藤弘二	FAX 0572-25-1163

## 「二〇年の歩み展 グリーンライフ21・プロジェクト」 を開催します

岐阜県セラミックス研究所と一般社団法人グリーンライフ21は、これまで「器から器へ」をコンセプトに陶磁器食器のリサイクルなどの取組みを行ってきました。

このたび、20年以上にわたる様々な活動や商品等を紹介する展示会を開催することとなりました。これからの社会で求められるSDGs（持続可能な開発目標）への取組みを始める一助となればと考えております。ぜひご来場ください。

### 記

- 日時** 令和2年7月20日(月)から8月7日(金) ※土日祝日は休館  
9:00~16:00
- 場所** 岐阜県セラミックス研究所 研修室  
(多治見市星ヶ台3-11、電話:0572-22-5381)
- 内容** 現在までの取組み内容、試作品・商品等を展示
- 予約制** 電話受付:午後5時まで  
閲覧時間:1時間  
閲覧人数:1回につき最大5名まで
- 入場料** 無料(ご来場の際は、マスク着用・手指消毒にご協力をお願いします。)
- グリーンライフ21(GL21)・プロジェクトについて**  
GL21・プロジェクトは、環境に配慮した陶磁器産地の形成をテーマに集まった企業や公設試験研究機関等で構成されています。2006年からはメンバー企業で法人を設立し(一般社団法人グリーンライフ21)、陶磁器食器の資源循環と環境負荷の少ないモノづくり、かつ快適なエコライフの創出を目的に活動しています。  
主な沿革  
・1997年 グリーンライフ21・プロジェクト結成  
・2000年 リサイクル推進功労者表彰「通商産業大臣賞」受賞  
・2001年 グッドデザイン賞「エコロジーデザイン賞」受賞  
・2004年 国内第一号となるエコマーク取得  
・2005年 「愛・地球賞」受賞、万博オフィシャルグッズに採用  
・2012年 リサイクル率50%の食器商品化
- その他**  
当研究所の釉薬カラーライブラリーも閲覧可能です。
- 問合せ先**  
岐阜県セラミックス研究所(担当:立石、加藤)  
電話:0572-22-5381、FAX:0572-25-1163  
電子メール:[info@ceram.rd.pref.gifu.jp](mailto:info@ceram.rd.pref.gifu.jp)

# 二〇年の歩み展

グリーンライフ21・プロジェクト

■日時 令和二年七月二〇日(月)〜

八月七日(金) 九時〜十六時

※土日祝日は休館

■場所 岐阜県セラミックス研究所 研修室

■入場 無料(予約制・電話による受付)

## お問合せ先

岐阜県セラミックス研究所 立石、加藤

住所: 岐阜県多治見市星ヶ台3-11 電話: 0572-22-5381

<http://www.ceram.rd.pref.gifu.jp/>

地球温暖化による自然災害の増加、プラスチックによる海洋汚染、環境問題が注目される中、リサイクル技術活用等によるサステナブル(持続可能:SDGs)な社会の構築が注目されています。美濃焼の食器のリサイクルは、1997年に当所の元職員の提案であるグリーンライフ21・プロジェクトの結成により始まります。「器から器へ」をコンセプトにリサイクルシステムの構築、配合量の多い素材開発、試作品づくりなどこの20年以上の間で様々な取り組みを行ってきました。その間、グッドデザイン賞受賞、洞爺湖サミットへの展示、研究開発プロジェクトの推進などを行っており、当時の試作品や商品を保有しています。

これからのSDGs時代の関心を深めるため、作品の展示会を開催します。



## GL21の主な沿革

- 1997年 グリーンライフ21・プロジェクト結成
- 2000年 リサイクル推進功労者表彰「通商産業大臣賞」受賞
- 2001年 グッドデザイン賞「エコロジーデザイン賞」受賞
- 2004年 国内第一号となるエコマーク取得
- 2005年 「愛・地球賞」受賞  
万博のオフィシャルグッズに採用
- 2006年 日本環境経営大賞 パール大賞受賞
- 2008年 洞爺湖サミット「ゼロエミッションハウス」展示  
及びお茶会にて採用
- 2010年 都市エリア産学官連携事業にて50%配合食器  
開発
- 2012年 リサイクル食器50%の商品化